

スキー一部





1951(昭和26年) 第24回全日本学生スキー選手権大会、リレー優勝。右から本周年、竹村菊昌、竹山朗、上田智。



丸山仁也(昭和40年卒)。



全日本学生スキー選手権大会滑降競技の優勝杯を受ける丸山仁也(昭和40年卒)。



1968(昭和43年) 全日本スキー選手権大会、苗場スキー場。滑降競技で大杖正彦が2年連続優勝。



1972(昭和47年) インカレのリレーメンバー。左より岡村、山本、関根、宮崎。1部6位入賞。



1972(昭和47年) インカレの応援にかけつけたOBとリレーメンバーで。右端は大杖正彦、左より二入目は竹山監督(当時)。



1969(昭和44年) インカレ大鰐スキー場にて。大杖正彦。



1972(昭和47年) インカレ。

1917 山岳会員有志が妙高山麓関温泉でアルペンスキーの練習を始めた。

1925 秋、木村悦郎、小栗虎之助らを中心に同好の者が集まり、三田スキー倶楽部を創立。

1932 三田スキー倶楽部は競技スキー志向となり、塾内対抗競技部新種目団体に加盟。／12 全日本学生スキー競技連盟に加盟。

1933・1 第6回全日本学生選手権(以下インカレという)2部(飯山)に初出場。団体3位。長距離、複合で優勝。

1934・1 第7回インカレ2部(札幌)団体優勝。耐久、長距離、リレーで優勝。この結果1部昇格。／10・23 スキー部、体育会加入。

1935・1 第8回インカレ(小樽)得点無く再び2部転落。

1938・1 第11回インカレ2部(小樽)団体優勝。耐久、リレーで優勝。この結果1部復帰。第16回全日本選手権大会複合で坂田時人が優勝。第1回早慶スキー大会に大敗。

1939・1 第12回インカレ(野沢)団体4位。第2回早慶スキー大会に大敗。

1940・1 第13回インカレ(野沢)団体6位。第3回早慶スキー大会で3連敗。

1941・1 第14回インカレ(小樽)団体6位。1942・1 第15回インカレ(米沢)団体5位。

スキーを雪滑と呼称させられ、戦時色に彩られた大会であった。第4回早慶スキー大会、早稲田 73-31 慶應。

1943・1 第16回インカレ(小樽)団体6位。1947・1 第20回インカレ(小樽)団体5位。

復活した第5回早慶スキー大会に初勝利。1948・1 第21回インカレ(小樽)団体2位。

複合で砂田巖が優勝。第6回早慶スキー大会、慶應 39-12 早稲田。

1949・1 第22回インカレ(小千谷)団体2位。複合で宮崎七郎、長距離と飛躍で砂田巖が優勝。第7回早慶スキー大会3連勝。

1950・1 第23回インカレ(大館)団体3位。

第8回早慶スキー大会、慶應 39-24 早稲田。

1951・1 第24回インカレ(大鰐)団体4位。リレーで上田、竹山、竹村、本間が初優勝。

1952・1 第25回インカレ(花巻)団体5位。

1953・1 第26回インカレ(米沢)団体4位。第31回全日本選手権大会の滑降で茂原博太郎が優勝。第9回早慶スキー大会、早稲田 76-28 慶應。

1954・1 第27回インカレ(小樽)団体4位。世界選手権大会(スウェーデン)に茂原博太郎が日本代表として出場。第10回早慶スキー大会、早稲田 76-28 慶應。

1955・1 第28回インカレ(大鰐)団体5位。第11回早慶スキー大会、早稲田 70-37 慶應。

1956・1 第29回インカレ(鳴子)団体4位。第34回全日本選手権大会の回転で茂原博太郎が優勝。第12回早慶スキー大会、早稲田 68-38 慶應。

1957・1 第30回インカレ(小樽)団体5位。



1980(昭和55年) インカレのリレーチーム。



1980(昭和55年) インカレ。



1981(昭和56年) インカレ。菅家誠志(昭和57年卒)。

長距離で宮下修が優勝。第13回早慶スキー大会、慶應 56-48 早稲田。

1958・1 第31回インカレ(米沢)団体5位。長距離で宮下修が2年連続優勝。第14回早慶スキー大会、早稲田 75.5-28.5 慶應。

1959・1 第32回インカレ(野沢)団体8位。得点無く2部転落。第15回早慶スキー大会、早稲田 73-31 慶應。

1960・1 第33回インカレ2部(札幌・小樽)団体優勝。耐久、長距離、滑降、回転で優勝。1年で1部復帰。第16回早慶スキー大会、早稲田 69-35 慶應。

1961・1 第34回インカレ(野沢)団体7位。第17回早慶スキー大会、早稲田 69-40 慶應。

1962・1 第35回インカレ(大鰐)団体7位。第18回早慶スキー大会、早稲田 70-34 慶應。

1963・1 第36回インカレ(野沢)団体7位。

第41回全日本選手権大会(八方尾根)の女子滑降で猪谷素子が優勝。第19回早慶スキー大会、慶應 52-45 早稲田。

1964・1 第37回インカレ(鳴子)団体7位。

1965・1 第38回インカレ(桐池)団体5位。滑降で丸山仁也が優勝。ユニバーシアード大会(イタリア)に猪股栄一が日本代表として出場。第43回全日本選手権大会(苗場)の女子滑降と回転で猪谷素子が優勝。

1966・1 第39回インカレ(桐池)団体8位。1部最下位となり2部転落。世界選手権大会(チリ)に猪股栄一が日本代表として出場。

1967・1 第40回インカレ2部(鳴子)団体3位。回転で優勝。国民体育大会冬期大会(八方尾根)の大回転で大杖正彦が、女子大回転で猪谷素子が優勝。第45回全日本選手権大会(苗場)の滑降で大杖正彦が優勝。第20回早慶スキー大会、慶應 27-26 早稲田。

1968・1 第41回インカレ2部(鳴子)団体

3位。滑降、回転で優勝。第10回オリンピック冬期大会(グルノーブル)に丸山仁也が日本代表として出場。国民体育大会冬期大会(八方尾根)の大回転で大杖正彦が女子大回転で猪谷素子が2年連続優勝。第46回全日本選手権大会(苗場)の滑降で大杖正彦が2年連続優勝。

1969・1 第42回インカレ2部(大鰐)団体2位。30km、15km、滑降、回転で優勝。1部校が8校から10校に増えたため1部復帰。第47回全日本選手権大会(志賀高原)の大回転と回転で大杖正彦が優勝。

1970・1 第43回インカレ(鳴子)団体7位。30kmで岡村富雄が優勝。世界選手権大会(イタリア)に大杖正彦が日本代表として出場。

1971・1 第44回インカレ(鳴子)団体7位。15kmで岡村富雄が優勝。大杖正彦は日本代表としてオーストラリア遠征隊に参加。

1972・2 第11回オリンピック冬期大会(札



1985(昭和60年) 第58回インカレ、回転で3位を獲得した竹節伸一(2年生)。

1987(昭和62年) 第60回インカレ、回転で4位にはいった竹節伸一主将。



幌)に大杖正彦と岡村富雄が日本代表として出場。ユニバーシアード大会(アメリカ)に岡村富雄が日本代表として出場。／3 第45回インカレ(鳴子)団体10位。1部最下位となり2部転落。

1973・1 第46回インカレ2部(猪苗代)団体3位。回転、純飛躍で優勝。村越安雄は日本代表としてオーストラリア遠征に参加。

1974・1 第47回インカレ2部(鳴子)団体6位。回転、純飛躍で優勝。ワールドカップ苗場大会に村越安雄は日本代表として出場。

1975・1 第48回インカレ2部(大鰐)団体4位。滑降、回転で優勝。村越安雄は日本代表としてチリ遠征に参加。

1976・1 第49回インカレ2部(大鰐)団体5位。回転で優勝。

1977・1 第50回インカレ2部(猪苗代)団体7位。

1978・1 第51回インカレ2部(赤倉)団体

7位。

1979・1 第52回インカレ2部(赤倉)団体9位。

1980・1 第53回インカレ2部(赤倉)団体8位。

1981・1 第54回インカレ2部(赤倉)団体7位。

1982・1 第55回インカレ2部(赤倉)団体10位。女子大回転で優勝。

1983・1 第56回インカレ2部(赤倉)団体11位。

1984・1 第57回インカレ2部(赤倉)団体6位。回転で優勝。

1985・1 第58回インカレ2部(赤倉)団体9位。

1986・1 第59回インカレ2部(赤倉)団体10位。大回転で優勝。

1987・1 第60回インカレ2部(赤倉)団体7位。

1988・1 第61回インカレ2部(蔵王)団体6位。30kmで優勝。

1989・1 第62回インカレ2部(赤倉)団体9位。30kmで優勝。

1990・1 第63回インカレ2部(赤倉)団体9位。15kmで優勝。

1991・1 第64回インカレ2部(白馬)団体11位。